

令和元年度都立図書館主要事業

1 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する

- (1) 2020 年に向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信
- (2) 世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

【具体的な取組】

中央図書館 1 階 3 展示コーナーの利用促進、オリンピック・パラリンピック関係資料の収集・活用、区市町村立図書館との連携事業実施、デジタル化画像を活用した情報発信強化 等

2 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する

- (1) レファレンス機能の強化
- (2) 利用者のアクティブな学びの支援
- (3) 外国語資料を活用したサービス・支援の充実
- (4) 学校への支援拡充
- (5) 都政への支援拡充

【具体的な取組】

レファレンスサービスの概要や事例の効果的な PR 及び発信、東京マガジンバンクカレッジ関連事業の発展、英語による外国人向けガイダンスの定例開催、国際交流団体等との連携事業実施、校外学習パッケージを活用した支援の充実、政策立案支援サービスの広報強化 等

3 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する

- (1) 館内施設の有効活用
- (2) 学びの空間、施設、設備の充実
- (3) 多様な情報源へのアクセス環境整備
- (4) 利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

【具体的な取組】

「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた拠点空間の提供、劣化度調査に基づく施設整備、電子書籍検索の機能の向上、職員育成基本方針の改定・新方針に基づく実施 等

《共通の施策》 広報活動を刷新し、積極的な情報発信や PR を行う

上記 3 本の柱の各事業を効果的に進めるために、横断的な取組として、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 新たな手法による情報発信強化
- (2) 広報活動の枠組や体制の整備

【具体的な取組】

図書館利用動画コンテンツ多言語版の作成・発信、「顔の見える」広報の実施、利用者とのつながりによる広報の実施、外国人をターゲットにした広報の実施 等